

しあわせ

vol.510

2014年7月

H a p p i n e s s

労福協 「一般社団法人 第1回定時総会」開催
野田市生活困窮者自立促進支援モデル事業開始



キノエネ本店(野田市)

●ひとりで悩んでいませんか?

くらし何でも無料相談

ちばライフサポートセンター

☎ 0120-53-4141



一般社団法人 千葉県労働者福祉協議会 第1回定時総会 開催!

去る5月22日(木) 13時30分から、一般社団法人となり「第1回定時総会」を全労済千葉県本部会議室において開催しました。



黒河会長

第1回総会は、日高副会長の開会挨拶に始まり、資格審査報告、そして議長選出を行い、議長には、連合千葉「辻」氏を選出しました。辻議長は、就任挨拶で千葉県労働者福祉センター落成にあたっての赤桐操理事長の「さらなる強固の連帯と新たな広がりがあるから生まれいずることを期待してやまない」との挨拶に触れ、労福協への期待を込めた就任挨拶がされました。会長挨拶では黒河会長から「昨年度は、会館事業の終息、一般社団法人移行、今後の労福協運動構築のための過渡期的で特

別な一年と位置づけ取り組んできた。また、出資団体であった国労千葉が新規加入された。新年度は、結成50周年の節目、一般社団としての第一歩の年となる、構成団体はそれぞれが持っている力は大きく、いろいろな形で私たちの出番がある。50年積み重ねた力を発展させていきたい。引き続きのご協力をお願いしたい。」との挨拶がされた。その後、ご来賓の連合千葉鈴木会長、千葉県商工労働部戸部次長からご挨拶を頂くとともに、千葉県商工労働部雇用労働課、千葉市経済企画課のご来賓及び千葉県労福協岡田顧問が紹介されました。議事に入り、この1年間の事業報告と予算執行状況について小柳常務理事より、監査報告を川野監事から報告があり、続けて、「今後の労福協運動のあり方」、2014年度事業計画(案)、予算(案)を小柳常務理事より、役員の一部改選を丸山副会長より提案され、決議は、議決権を有する会員の挙手で行い、その後参加者全員による拍手で確認する方法で行い全て承認可決されました。



た。退任された森前監事(連合千葉)、新任の齋藤理事(連合千葉)、金子監事(連合千葉)の挨拶後、細根副会長の閉会挨拶で第1回定時総会が無事終了しました。

黒河会長あいさつ

皆さまのご協力を頂き4月1日より一般社団法人として新たなスタートを切りました。昨年一年間は、過渡的で特別な一年と位置づけ、一般社団法人への移行、会館事業の終息、今後の労協協運動の構築など、今まで一体であった会館事業なしでの労協協運動を一年間努力し取り組み、次のステップをやるような状況を作った一年でした。

会館を閉館し解体することは大きな事業でしたが、細心の注意を払い工期を2ヶ月延長しましたが、無事故無災害で完了し、土地を千葉県に返すことができました。

また、直接、労働者福祉運動を支えて頂いている連合・中央労金・全労済から千葉県労協協の厳しい財政事情に対し費用支援を頂きました。改めて感謝申し上げます。

会館解体工事完了に伴い出資団体の会員特別扱いが終了しましたが、国労千葉と一緒に労協協運動を推進していくということで、新規に加入して頂き、本日会員として参加頂きました。

今年度は、結成50年の節目を迎えます。その第一歩が一般社団法人としての第一歩となります。「今後の労協協運動のあり方」を取りまとめましたが、その方向、エッセンスは、会員への支援、会員の力を引き出すことに尽きます。そのことにより、千葉県内すべての勤労市民の幸福の実現に貢献することになります。この間のNPO等々との連携の積み重ねにより、他からの労協協に対する見方や期待があります。連合は労働運動のナショナルセンター、生協は生活を支える基盤、労金は労働者の金融機関、全労済は病気や災害等での相互扶助での支え合い。それぞれが力を持っています。物的・人的・ネットワークという大きな力を結びつけ倍する力に変えて社会に貢献していきたいと思えます。

私たちを取り巻く状況は悪くなっています。アベノミクスで景気は緩やかに回復していると思いますが、賃金は17年間で下がりっぱなしでしたし、非正規労働者は38%超の2000万人を超え、年収200万円以下の給与所得者は1000万人を超えています。生活保護受給者も過去最高となっており、決して好転しているとは言えません。

私たちの目的は県内で働く全ての人の幸福を実現することにあります。本年の大きな新たな取り組みとしてライフサポートセンター事業の経験蓄積をベースに、生活困窮者自立支援事業に関わり、活動領域を拡大していく予定です。いろいろな形で私たちの出番があります。50年積み重ねた力を発展させ、社会の期待に応えていくではありませんか。



来賓 千葉県 戸部次長



開会挨拶 日高副会長



提案 小柳常務理事



来賓 連合千葉 鈴木会長



役員選出 丸山副会長



監査報告 川野監事



新任役員
齋藤理事・金子監事



退任役員 森前監事



閉会挨拶 細根副会長



議長 連合千葉 辻氏



野田市生活困窮者自立促進支援モデル事業

野田市パーソナルサポートセンター

千葉県労福協は、野田市より「生活困窮者自立促進支援モデル事業」を受託し、7月1日より野田市役所2階にあるパーソナルサポートセンターで事業を開始しました。

本モデル事業は厚生労働省の事業であり昨年度から全国でスタートし、千葉県内では9市・10箇所（千葉市中央区・稲毛区、船橋市、柏市、野田市、佐倉市、香取市、鴨川市、富津市、浦安市）で実施されています。また、全国の労福協では、既に新潟、山口、徳島、沖縄の各労福協で取り組みがされているところです。

実施体制は、常勤2名・非常勤2名で常時3名体制を基本とし、千葉県労福協元常務理事の石田勉氏を中心に事業を推進しています。事業内容は、生活困窮している方の生活や就労に関する相談や各種支援制度の利用に関する連絡・調整等を個別的、継続的、包括的に実施するものです。

千葉県労福協創設以来、

初の事業受託と

なりますが、受託するにあたり、「ちばライフサポートセンター」での「暮らし何でも相談」、それに伴う生活保護申請や住宅確保、食料確保、就労等の支援や継続的・伴走型支援等の経験や実績の積み重ね、労福協及び構成団体の運動や事業の中で培われた強み、弁護士、司法書士、精神保健福祉士や、中核地域生活支援センター他の地域福祉資源とのネットワーク等を総合的に勘案し受託方針を決定しました。

初の取り組みとなりますが、本モデル事業の目的達



成に向け専従スタッフとともに、千葉県労福協として一体となって事業を推進していきます。その中で、会員である連合千葉、中央労働金庫、全労済、千葉県生協連の経験とネットワークの力が発揮されていくことが期待されています。

皆さまのご支援ご協力をお願いいたします。



NPO法人子育て支援グループ ハミングちば

第13回 定期総会

5月25日(日)、イタリアンレストラン「ガンツォ」(千葉市中央区)において、NPO法人子育て支援グループ「ハミングちば」の第13回定期総会が会員16名(委任状16名)の出席のもとに開催されました。

総会にあたり野中理事長より新年度事業計画策定の留意点として「この間、今後の活動のあり方について、活動の棚卸しや千葉市の現状・取り組み調査等を行い取りまとめてきました。2002年の結成から12年が経過し、子育て環境が大幅に整備され、児童数も減少してきました。支援件数を増やすことが大きな課題となっています。千葉市のファミリーサポートセンターの支援件数は増加しているのを見て子育て支援のニーズはあります。高洲地区の支援が増加しています。支援件数も大事ですがこの活動を継続していくことがより大事です。」との挨拶がされました。

その後、来賓として千葉県労働者福祉協議会黒河会長、連合千葉鈴木会長より連帯と激励の挨拶を頂きました。

審議事項では、2013年度事業報告・収支決算報告・監査報告が承認され、引き続き2014年度事業計画・収支予算・役員及び報酬に関する件が満場一致で承認されました。

その後、総会を一時中断し再開後、第1回理事会で小柳理事長、伊藤副理事長、福原事務局長が選任された

旨の報告があり満場の拍手で確認されました。

本総会で、ハミングのスタート時からご尽力を頂きました野中さん(前理事長)、齋藤さん(前理事長)、栗田さん(前理事長)、栗田さん(前理事・初代理事長)が退任されるとともに監事としてご尽力頂きました坂本さんが退任されました。ご指導ご尽力に對し心より感謝し、そして、新たに就任された山科理事・吉川理事・上斗米理事・小松監事をはじめ全員で一丸となって取り組んでいく決意のもとに総会が終了しました。

この12年間、支えて頂きました個人・団体賛助会員の皆様に、しあわせの誌面をお借りし感謝申し上げますとともに、これからもハミングの仲間として、ともに歩みお支え頂きますようお願い申し上げます。

2014年度役員

理事長	小柳 光廣
副理事長	伊藤 豊子
事務局長	福原 正子
理事	榎原恵美子
理事	山科 眞澄
理事	吉川 洋子
理事	上斗米久枝
監事	辻 徳次郎
監事	小松 正





心つなげよう！ しの底上げ実現のために

第85回千葉県中央メーデー

すべての働くものの連帯で、
第18回統一地方選挙を勝利し、
「働くことを軸とする安心社会」
を実現しよう！

2014年4月26日（土）に千葉ポートパーク円形広場において、約7,000人の参加のもと、第85回千葉県中央メーデーを開催しました。

式典には、千葉県知事（同代理者）、熊谷千葉市長をはじめ、行政関係、政党関係、連合千葉議員団、福祉団体などから多くのご来賓にご臨席を賜りご挨拶を頂戴いたしました。その後、青年委員会篠原委員長による「メーデー宣言」と五十嵐副会長による「労働者保護ルールの改悪に断固反対する特別決議」が満場一致で採択されました。



挨拶に立つ鈴木会長

式典終了後の特別ブースでは、千葉県内の被災地復興支援の取り組みとして、香取市と神崎町の皆さんによる物資販売、祭典では、働く仲間の一体感を意識した部会対抗綱引き大会を行いました。そして、恒例の千葉ロッテマリーンズキャラクターとMスプラッシュによるダンス&トークショーや大抽選会、ミニスカライナーの乗車体験や乗馬体験等、笑いと歓声で盛り上がり、働く者の連帯を確認し合う有意義なメーデーとなりました。



乗馬体験



力を合わせよう！ みんなの暮ら



ミニスカイライナー



復興・再生特別ブース



部会対抗綱引き大会

第14回 通常総会開催

中央労働金庫第14回通常総会は、6月25日（水）午後1時より東京都中野区のサンプラザホールにおいて、代議員474名が出席し、開催されました。

開会の辞、議長選任、総会成立確認と進み、続いて吉田理事長が挨拶を行い、来賓より祝辞をいただいた後、議案審議に入りました。

議案は、報告事項として「第1. 2013年度事業活動報告」（「R・ONEシステム移行」に関するご報告）（「役員就任時の退職金追加支給問題」に関するご報告）「第2. 第13期（平成25年4月1日から平成26年3月31日まで）業務報告、貸借対照表および損益計算書の報告」、第1号議案「第13期剰余金処分案承認の件」、第2号議案「2014年度事業計画設定の件」、第3号議案「役員選任の件」についてでした。慎重な審議の結果、全議案とも承認決定され、通常総会は終了しました。

第14回通常総会終了後に開催された臨時理事会において、右記の常勤役員体制が確立されました。



総会壇上

理事

役職名	氏名	備考
理事長	吉田 正和	代表理事
副理事長	松迫 卓男	代表理事
常務理事兼執行役員	稲垣 聡	
常務理事兼執行役員	山本 修一	
常務理事兼執行役員	塩沢 信男	
常務理事兼執行役員	瀬山 功	
常務理事兼執行役員	小木 曾治彦	
常務理事兼執行役員	池谷 匠	東京都本部長
常務理事兼執行役員	野村 芳広	神奈川県本部長
常務理事兼執行役員	山崎 正美	茨城県本部長
常務理事兼執行役員	日高 英彦	千葉県本部長
常務理事兼執行役員	宮本 重雄	埼玉県本部長
常務理事兼執行役員	大橋 豊	群馬県本部長
常務理事兼執行役員	青木 義明	栃木県本部長
常務理事兼執行役員	渡辺 一彦	山梨県本部長
執行役員	小島 政司	
執行役員	松井 眞	
執行役員	大塚 良貞	

監事

役職名	氏名	備考
常勤監事	八尾 和夫	
常勤監事	菊池 良孝	



理事長挨拶



代議員席の様様



6月26日、千葉市内において千葉県生協連第65回通常総会が開催され、すべての議案を賛成多数で可決しました。総会には、千葉県環境生活部生活安全課、千葉県農協中央会、千葉県労福協、日本生協連中央地連からそれぞれ来賓としてご挨拶をいただきました。なお、今回の総会による役員の変更はありません。

千葉県生協連に加入している生協の組合員は、

2014年3月末時点で、購買生協約108万、共済生協約49万の規模となっております。このうち地域購

買生協の組合員は約99・6万で、県内世帯比による加入率は38・4%となっております。また、購買生協の

事業高は2013年度総計で約1,302億円となっています。

県労福協

銚子地区労福協

連合千葉災害ボランティアチーム

県生協連

旭市飯岡仮設住宅から復興住宅への引っ越しを支援



作業前のミーティング



仮設住宅からの積み込み



作業の様子（背景が完成した復興住宅）

東日本大震災の津波被害を受けた旭市飯岡地区では、約150戸の仮設住宅が設置されて被災された方が生活していましたが、近くに33戸の「災害公営住宅（復興住宅）」が3月に完成しました。4月12日（土曜日）と20日（日曜日）に、旭市社会福祉協議会からの要請

を受けて、千葉県労福協・銚子地区労福協・連合千葉災害ボランティアチームから、両日とも40名を超えるボランティアが参加して仮設住宅からの引っ越しを支援しました。千葉県生協連からは、パルシステム千葉・生活クラブ生協（12日）、コープみらい（20日）のトラックと運転手が協力しました。両日で7世帯の引っ越しを支援しました。

これまで仮設入居者を手助けしていた県の生活支援アドバイザー事業は旭市が引き継ぎ、環境変化などによる心身の変調のケアなど、来年3月まで事業を継続します。飯岡地区の仮設住宅では、設営以降毎月2〜3回、生協などが中心となって「スマイルカフェ」を開催し、住民の交流と心のケアを支援してきましたが、こうした活動も継続していく予定です。

2014年度 生活保障プランナー研修会開催報告

全労済千葉県本部では職場内の組合員から、幅広い相談業務を受けている労働組合役員、書記の皆さまへの支援として「生活保障プランナー講座」を開講しております。入門講座および5単元を受講いただきますと生活保障プランナーに認定されます。

2014年5月23日に全労済千葉県本部会館にて、生活保障プランナー研修会が開講され、15団体17名のプランナーが受講されました。講師には、(株)FPユニオンLabo・代表取締役社長の宮越肇先生を迎え講義を受けました。

『マーケティングから実行サポートまで』『アプローチ&カウンセリング編』をテーマとした内容で、労働組合が組合員からの相談をさかんにさせ、それに応えていくのが研修会の狙いです。

まずは、組合員への相談業務を6つのステップに分け、プランナーが個別相談のゴール設定をどこまで行うのか説明がありました。ステップ1は「マーケティング」です。個別相談を受けたい組合員と会う機会を設けることが手始めです。

ステップ2で「組合員へのアプローチ」まで行っていたことが理想ですが、経験が浅いうちは全労済の職員を呼んでいただいても、構わないとのことでした。

ステップ3は「組合員の必要保障額を計算」することですが、今回の研修では、生活保障設計ガイドを使い必要保障額算出のシミュレーションを行いました。また、保険証券の見方の説明もありました。

プランナーで自身が、ここまで行えるようになるのが、今回の研修のゴール設定でした。まとめますと、組合員に対して①現在、加入している保険について把握する。(現状の把握) ②どのような保険が理想なのかを聞く。(理想や希望の把握) ③現状と理想にギャップがあれば問題点としてレクチャーする。(問題点の確認)

経験を重ねることで、高いゴール設定が出来るかと宮越先生も仰られていました。今後も、「生活保障プランナー講座」や「生活保障プランナーフォローアップ研修会」を開催していきますので、皆さまのご参加をお待ちしております。

ZENROSAINET

こくみん共済

総合タイプ
医療安心タイプ
キッズタイプ
シニア医療タイプ

家族の“まさか”を支える安心の保障です。




全労済は、高利を目的としない保障の生活として共済事業を営み、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしをめざしています。出資金をお支払いいただいて各都道府県生活協同組合員になれば、各種共済をご利用いただけます。

全労済 ホームページ

<http://www.zenrosai.coop>



全国労働者共済生活協同組合連合会

ネットワーク団体活動のご紹介

千葉県労福協は、地域創造ネットちば、協同労働の協同組合ネットワークちば、フードバンクちば、消費者行政充実ネットちば、貧困問題を考える懇談会やひと・くらしサポートネットちば他に参加し、市民との協同や幅広いネットワークで社会的課題に取り組んでいます。

この間の主な取り組みについて紹介・報告します。

1 2014協同集会 in千葉

4月20日（日）に千葉大学西千葉キャンパスにおいて、「2014協同



集会in千葉」が開催されました。千葉県労福協は実行委員会に参加するとともに黒河会長が共同代表に就任し取り組んできました。本集会は、「地域に新しい力を共に生き・イノチをつなぐ協同」をテーマに

全体会と9分科会で構成し、全体会での記念講演では、賀川記念館館長の賀川督明氏から「ともに生きるために」を講演頂き、特別報告ではNPO法人Homedoor代表の川口加奈氏より「ホームレス状態を生み出さない日本にするために」と題しハブチャリを始めとした活動報告がされました。また、分科会では第6分科会「深刻化する社会的困難にど

2 第14回全国菜の花サミットin神崎

2001年に滋賀県からスタートし14回目を向かえた「全国菜の花サミット」は、4月26日（土）・27日（日）に千葉県神崎町のふれあいプラザ文化ホール、わくわく西の城等で全国各地



う立ち向かうか？」に参画し、パネルディスカッションのパネラーとして黒河会長が参加し、連合や労福協が目指す社会や雇用問題等への取り組みについて報告がされました。全体会、分科会とおし盛況裡に協同集会が終了しました。

から二日間で460名が参加して開催されました。千葉県労福協は実行委員会に参加し、黒河会長が副実行委員長となり取り組んできました。本サミットは「菜の花が世界を救う！地域から私たちの未来を考える」をテーマに初日は、開会式、記念講演、リレートーク、情報交換・大交流会が行われました。オープニングは、「寺田本家 酢摺り唄」が披露され、開会式では神崎町石橋町長より歓迎の言葉を頂き、大交流会では「発酵の里こうざき」の食文化に触れ、和太鼓や子どもたちの歓迎の踊りで大いに盛り上がりました。二日目は移動セミナーとして芝山にある「あぐりくんBDFフロント」や「こ

うざき自然塾」が栽培している菜の花畑を視察し、その後、3分科会に分かれ各地の取り組み報告、意見交換等が行われました。閉会セレモニーでは、サミット宣言の採択が行われ、黒河副実行委員長より2日間の取りまとめを含め閉会挨拶がされ有意義なサミットが終了しました。

フードバンクちば 2周年記念イベント

6月7日



(日)に千葉大学西千葉キャンパスにおいて、「フードバンクとこれからの地域協働」と題してフードバンクちば2周年記念イベントが開催されました。第1部では「フードバンクちば活動報告」、第2部では映画「もったいない」、第3部では「意見交換・交流会」としてフードバンク食品を活用した料理の試食、フードバンクグッズ等が行われました。第1

部で「フードバンクの現在」、第2部で「食品ロスをどうする?」、そして第3部で「フードバンクの未来」を考えるイベントとなりました。千葉県労働協会は、フードバンクの研究会から参画し、設立から今まで支援団体として取り組んできました。この間、「フー ドドライブ」を始め多くの取り組みに連合千葉や多くの労働組合の皆さんにご支援頂いております。そうした仲間 の皆さんにも参加頂き連帯を深める2 周年記念イベントとなりました。

4

消費者行政充実 ネットちば

「消費者行政充実ネットちば」は、



1月に開催された消費者教育フェスタ in 千葉(文部科学省主催)、平成25年度関東ブロック「地方消費者グループ・フォーラム in 千葉」(消費者庁主催)、5月27日開催の消費



費者行政充実ネットちば」の活動報告や紹介等を行っています。千葉県とともに主催した「安全・安心な消費生活のためのシンポジウム in 千葉市」は2月22日に開催し多くの市民の皆さんにお集まり頂き活発な意見交換が行われました。

者フォーラム in 千葉(千葉)に参加してき ました。とりわけ、「地方消費者グループ・フォーラム in 千葉」では、実行委員会 事務局を担当してき ました。それ ぞれに おいて、「消

5

よりそい ホットライン報告会

6月29日(日)、千葉県弁護士会館で(一社)ひと・くらしサポートネットちば主催による「よりそいホットライン報告会」が開催されました。『孤

立・無縁・貧困』弱さから始まる『支援+支縁+居場所』への挑戦』を掲げた報告会は、基調講演「生活困窮者の現状と課題〜生きる希望を共に創り出せる『支援』とは?」、実践報告「生活困窮者自立支援法モデル事業の報告」、ディスカッション「生活困窮者支援と支縁の可能性について考える〜一刻の取り組み〜」の3部構成で進められました。行政や弁護士、支援団体等の多くの参加者が、生活困窮者支援の現状を共有するとともに、今後の地域づくりのあり方等を考える有意義な報告会となりました。



中央ろうきん 毎月第3土曜日は 相談会の日

開催時間 10:00~17:00



ろうきんイメージモデル 高垣麗子



車のローン



住宅ローン

住宅や車のローン、
教育資金、資産運用など、
何でも相談しちゃおう！



資産運用



教育ローン

※ 8月の第3週は未開催となります。※一部未開催の店舗がございます。※店舗によって相談会の開催時間が異なる場合がございます。
※事前のご予約がないお客様につきましては、お待ちいただくか、ご相談時間を別途ご調整させていただく場合がございますので、
予めご了承ください。※詳しくは〈中央ろうきん〉営業店またはホームページにてご確認ください。

相談会ご予約受付中！

ホームページ予約専用URL <http://chuo.rokin.com/link/soudankai>

相談会にご来場いただけない方もホームページから

住宅ローンWeb簡易審査申込好評受付中！

最新の金利・商品の詳細をホームページでご確認いただけます

中央ろうきん

検索

<http://chuo.rokin.com/>

お問い合わせ・ご相談は

〈中央ろうきん〉千葉県本部

TEL.043-251-5162 FAX.043-256-1280

あんしん
創造バンク
中央ろうきん

茨城・栃木・群馬・埼玉・千葉・東京・神奈川・山梨
の店舗でお持ちしております。

中央ろうきん

中央ろうきん本部

第31回 千葉県勤労者 チャリティゴルフ大会

ゴルフを通して勤労者の親睦・友好・健康増進を深めあうとともに、参加者からのチャリティ募金は震災避難者や格差貧困問題等、社会的活動に取り組む団体などに寄附して、その一助とすることを目的にチャリティゴルフ大会を開催いたします。奮ってご参加ください。

開催日 2014年10月27日(月)

参加資格 勤労者(千葉県在住及び在勤)とOBとその家族

場 所 真名カントリークラブ

千葉県茂原市真名 1744 TEL 0475-24-5211

参加費 12,500円(セルフプレーとなります。)

(グリーンフィー、ロッカーフィー、昼食・ワンドリンク付き、パーティー代、参加費300円、チャリティ募金1,000円含む)

募集人数 200名(50組)予定

申込方法 真名カントリークラブならびに千葉県労福協にFAXでお申し込みください。

(申込書に団体名、責任者名、4名の氏名・年齢をご記入ください。)

真名CC FAX 0475-24-5216

労福協 FAX 043-241-6683

締め切り 2014年10月3日(金)

競技方法 すべてストロークプレーで新ペリア方式といたします。

①総合個人戦

②組別団体戦

③ロングパットゲーム(2球パットする中で入る数で競うものです)

主 催 (一社)千葉県労働者福祉協議会

後援団体 千葉県・連合千葉・中央労金千葉県本部・全労済千葉県本部・千葉県生協連

